

## DIAGNOSTIC TOOL

### 操作ガイド

**HDM-10000**

## ホンダ/EPB 整備モードの活用によるリヤブレーキパッド交換 (アコード/CV3 での例)

### 注意事項/必ずお読みください

- 本書は Astemo ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

### 1. EPB 整備モードについて

- 電動パーキングブレーキを採用しているホンダ車ではリヤブレーキパッドの交換を行う際、スキャンツールの作業サポート「電動パーキングブレーキメンテナンスモード」を使用します。
- HDM-10000 メニュー内の「特殊機能」にある「EPB 整備モード」を選択すると「電動パーキングブレーキメンテナンスモード」各種機能に直接アクセスでき、通常のホンダ診断ソフト ⇒ 作業サポート選択 ⇒ システム選択 ⇒ 機能の選択の操作を省略することが可能です。
- 本書ではアコード(CV3)での操作例を紹介します。
- アコードで「EPB 整備モード」を使用した電動パーキングブレーキのリヤブレーキパッド交換の手順は以下となります。

車両側 POWER スイッチ ON で  
パーキングブレーキを解除する  
(2 ページの手順 01)

HDM-10000 の「EPB 整備モード」の  
「ブレーキパッドメンテナンスモード」を  
実行する。  
(2~3 ページの手順 02~03)

車両側 POWER スイッチ OFF で  
整備解説書の手順に従い  
リヤブレーキパッドを交換する。  
(3 ページの手順 04)

車両側 POWER スイッチ ON で HDM-10000 の  
「EPB 整備モード」の「通常モード(元のパッドの位置)」  
を実行する。  
(4 ページの手順 05)

● 車両側 POWER スイッチを OFF にし、整備解説書  
の手順に従い点検。  
● 車両側 POWER スイッチ ON でパーキングブレーキ  
の作動と解除を実行。  
(5 ページの手順 06)

赤枠 = HDM-10000 を使用する項目  
黒枠 = 車両側に対して行う項目

(次ページに続きます)

## 2.HDM-10000 用ホンダ診断ソフトの「EPB 整備モード」の操作手順

### 【手順 01:HDM-10000 の車両への接続】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクターに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②車両側 POWER スイッチを ON にして、次にパーキングブレーキスイッチでパーキングブレーキを解除してください。
- ③HDM-10000 メニュー内の「特殊機能」を選択して ENTER キーを押してください。



### 【手順 02:メンテナンスマード→EPB 整備モード→電子制御パーキングブレーキメンテナンスマード起動まで】

- ①特殊機能が表示されます。「メンテナンスマード」を選択して ENTER キーを押してください。メンテナンスマードの画面が表示されたら「ホンダ/アキュラ」を選択し、画面の右側の一覧で「EPB 整備モード」を選択して ENTER キーを押してください。



- ②「しばらくお待ちください」、「イニシャライズ中…しばらくお待ちください」、「車体番号を取得しています」の順番で画面にメッセージが表示されたあと「エンジンタイプ選択」が表示されます。接続している車両に該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。「車両システム確認中…しばらくお待ちください」のメッセージが表示されたあと「EPB 整備モード」の機能選択画面が表示されます。



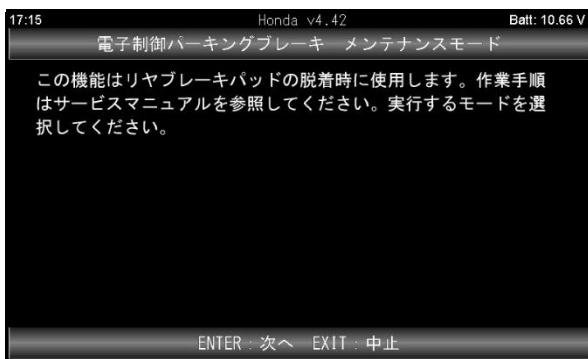
(次ページに続きます)

### 【手順 03:EPB 整備モード/ブレーキパッドメンテナンスマードの実行】

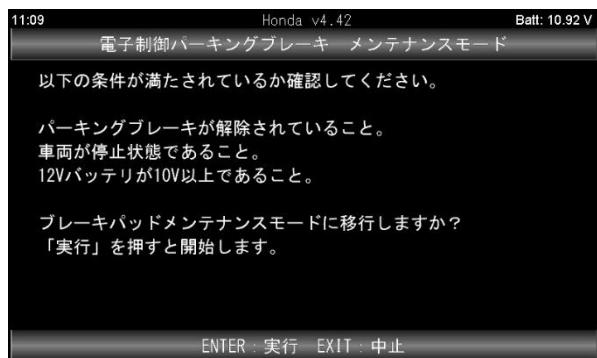
- ①「EPB 整備モード」の機能選択画面で「電子制御パーキングブレーキメンテナンスマード」を選択して ENTER キーを押してください。



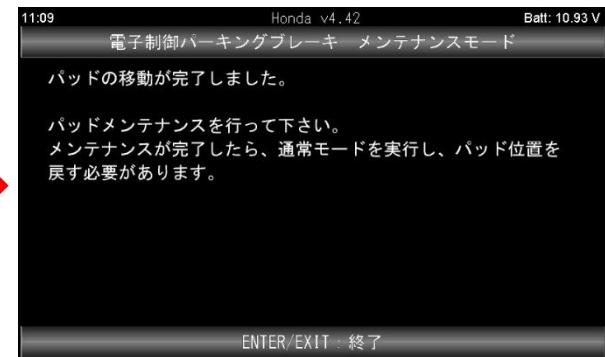
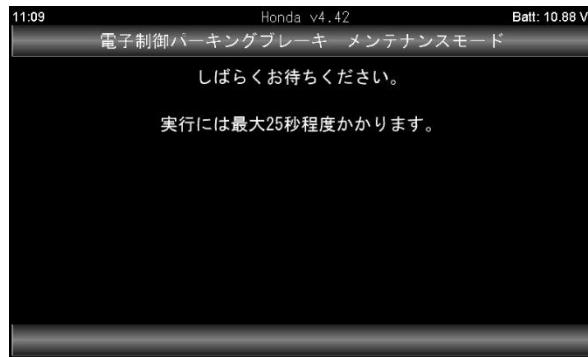
- ②機能の説明画面が表示されます。内容を確認したら ENTER キーを押してください。次に機能選択画面が表示されたら「ブレーキパッドメンテナンスマード」を選択して ENTER キーを押してください。



- ③右の画面が表示されます。表示内容を確認したら ENTER キーを押してください。



- ④「しばらくお待ちください。実行には最大 25 秒程度かかります。」のメッセージが表示されたあと「パッドの移動が完了しました。」が表示されたら車両側がブレーキパッドメンテナンスマードに移行しております。ENTER キーを押して上記②の機能選択画面に戻してから手順 04 に進みます。



### 【手順 04:リヤブレーキパッド交換の実施】

- ①車両側 POWER スイッチを ON⇒OFF にしてください。  
②整備解説書に記載された作業手順に従いリヤブレーキパッドの交換を行ってください。

(次ページに続きます)

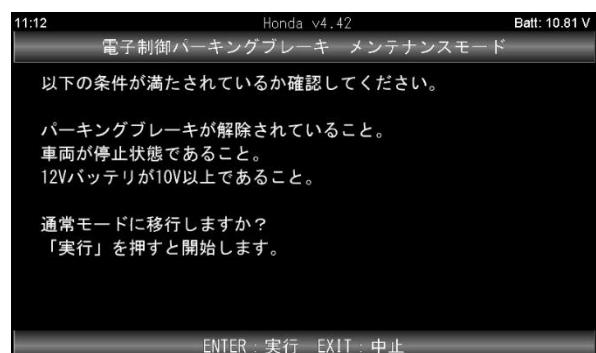
## 【手順 05: EPB 整備モード/通常モード(元のパッド位置)の実行】

①リヤブレーキパッドの交換が完了したら車両側 POWER スイッチを OFF⇒ON にしてください。

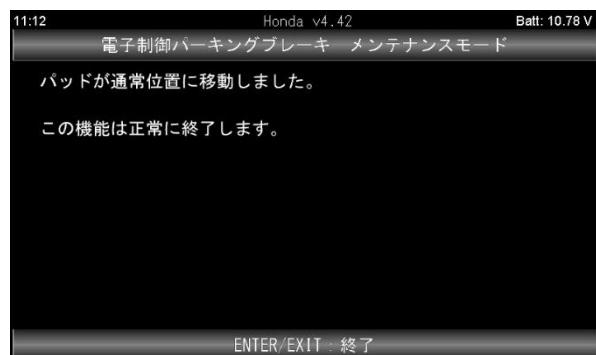
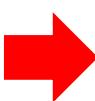
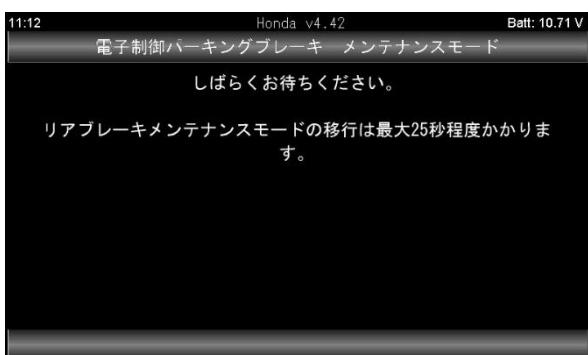
②機能選択画面で「通常モード(元のパッド位置)」を選択して  
ENTER キーを押してください。



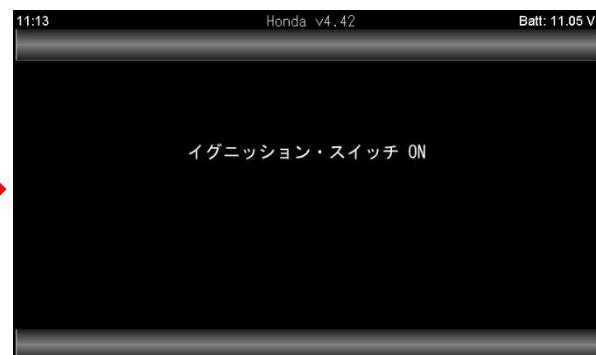
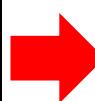
③右の画面が表示されます。表示内容を確認したら  
ENTER キーを押してください。



④「しばらくお待ちください。リヤブレーキメンテナンスモードの移行には最大 25 秒程度かかります。」のメッセージが表示  
されたあと「パッドが通常位置に移動しました。」が表示されたら ENTER キーを押してください。



⑤「イグニッション・スイッチ OFF」のメッセージが表示されたら車両側 POWER スイッチを OFF にしてください。「約 5 秒  
待ってください…」のメッセージに続いて「イグニッション・スイッチ ON」のメッセージが表示されたら車両側 POWER  
スイッチを ON してください(上記②の画面に戻ります)。手順 06 に進みます。



(次ページに続きます)

### **【手順 06:車両側の点検】**

- ①車両側 POWER スイッチを ON⇒OFF にしてください。
- ②整備解説書に記載された作業手順に従い点検を行ってください。
- ③パーキングブレーキスイッチでパーキングブレーキの作動と解除を行い、パーキングブレーキの自動調整を行ってください。

(2026.01.30 発行)